

向陽 SSH NEWS 第2号



編集：向陽高校SSH事務局

6月7・8日

向陽中学校2年生 体験学習合宿

ナショナルトラスト「天神崎」、かわべ天文台 みなべ町千里の浜、関西電力御坊発電所

中学2年生では、環境学（総合的な学習の時間）で環境保全とエネルギーをテーマに学習をすすめています。まず、5月23日に玉井済夫氏（天神崎の自然を大切にする会・理事）を本校にお迎えして、ナショナルトラスト運動発祥地の田辺市天神崎についての講演をいただき、6月7日・8日に現地学習をしました。

天神崎では、玉井済夫氏、弓場武夫氏（天神崎の自然を大切にする会・理事）、田名瀬英朋氏（元・京都大学瀬戸臨界実験所職員）を講師に迎え、日和山で火災跡地の植栽や湿地の見学、磯の生物観察を行いました。磯では、ウニやナマコ等の棘皮動物や、ウミウシやアメフラシ等の軟体動物、その他多数の甲殻類、魚類等、たくさんの生物を観察しました。生徒は、実際に手に取り、その生態や形態を学ぶことによって、本物が持つ魅力や、五感を使って感じ取ったようです。

また、今年はみなべ町の千里の浜を訪れ、後藤清氏（みなべ町ウミガメ研究班代表）からウミガメの産卵についてお話を伺いました。幸運にも前日の夜に2頭のウミガメが産卵した卵を掘り起こし、海水につからない安全な場所に移し替える作業をさせていただきました。小さく柔らかなウミガメの卵を手にするという貴重な体験をした生徒たちは、生命の神秘と尊さを実感していました。



生徒の感想

ウミガメの学習では、ごみの多い浜でも一生懸命生きているウミガメの話を知ることができました。自然が多いということはそれだけそこは生物が生きやすい環境ということです。その努力の一つとして、見学した御坊発電所では、排水は全て浄化して、海に流しているということでした。しかし、浜にはごみがあったのです。僕は少し悲しくなりました。僕達の生活の中で、海を汚しているのは工場というような考えが植えつけられていますが、全く違い、僕達自身が一番汚しているということを目の当たりにしたからです。そのごみの中には、韓国のペットボトルもあり、「環境問題は世界で取り組まないと解決しない」ということを実感させられました。

6月15日

1年 環境科学科 第1回研究室訪問 関西光科学研究所

6月15日（金）、関西光科学研究所木津地区を訪問してきました。

光量子ビーム利用研究実験棟の見学では、実際に最先端の研究をしている研究者の方から直接お話を聞くことができました。研究施設内でレーザー発生のしくみやレーザーの特徴などについて、パネルも利用しながら詳しく説明していただきました。レーザーの医療現場での利用など生徒にとっ興味を引く内容であり、見学した生徒からも積極的に質問が出ていました。

光科学館「ふおとん」では、エントランスの偏光ビューワや光の再発見ゾーン、光通信などの分かりやすく楽しい展示物もたくさんあり、体験しながら光についての学習を深めることができました。



生徒の感想より

「実際に実験棟で行っている実験や、さまざまな装置を見ることができてとても興味深かった。」 「内容は難しかったけれど、研究員の方から丁寧に説明していただき、自分なりに理解できました。質問にも分かりやすく教えていただいて本当に良かったです。」 「ふおとんの見学では、楽しい実験やいろいろ体験できる装置があって、とても楽しかった。」 「大実験室への移動中に見えた小研究室でパソコンに向かってる研究員の方に出会えて、最先端の科学者の人たちの日常を感じることができたことが印象的でした。」

SSH関係 今後の予定

- 7月5日 第1回先端科学講座（数学分野）京都大学 塩田隆比呂先生：高校環境科学科1年
- 7月18日・19日 第1回実験講座「水質分析」和歌山大学 木村憲喜先生：高校環境科学科1年
- 7月25日～27日 SSHサイエンスツアー（広島大学・スプリング8他）：高校2年希望者
- 8月5日 第2回研究室訪問（近大生物理工学部）1日研修：高校環境科学科1年
- 8月7日～9日 SSH全国研究発表会（横浜：高校3年、2年代表者）
- 8月29日 第3回研究室訪問（近大生物理工学部）半日研修：高校普通科理系2年
- 10月25・26日 SSHラボツアー（大阪大学、京都大学）：高校環境科学科1年
- 12月20日 和歌山県高校生生徒科学研究発表会（和歌山市民会館）

